行 政 視 察 報 告 書

令和８年　１１月　６日

長浜市議会議長　中川　リョウ　様

長浜市議会議員　　坂井　久泰

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

１．視察等名　　令和８年度産業建設常任委員会行政視察研修
２．視察期間　　令和８年１０月２８日（水）～１０月２９日（木）
３．視察場所及び目的
①広島県尾道市
「観光振興について」
②岡山県井原市
「地域農産物総合交流センター（葡萄浪漫館）について」
４．調査内容感想等

・視察の目的

① 広島県尾道市　観光振興について

② 岡山県井原市　蒲萄による町おこしについて

尾道市は、戦国時代　村上水軍で有名な因島があり、又。織田信長に京都を追放された足利義昭が毛利氏の庇護を受け「鞆幕府」が置かれた、鞆の浦も近くにあります。又、囲碁ファンには有名な、本因坊秀策の生家を再現した記念館もあります。そして、歴史が深い地域の為、寺院も多く点在しています。

歴史好きの多くのファンに取っては、魅力的な地域とも思いました。私も囲碁をたしなむ為、本因坊秀策囲碁記念館には一度行ってみたいと思いました。

それらの観光資源を尾道市は、どのように活用し町の発展に繋げているのか？を学びに行きました。

長　浜　市　議　会

井原市は、蒲萄を生産する農家のみなさんの自立を目指して施策を行い、蒲萄浪漫館を建設の上、第３セクターでは無く、民間企業に管理運営委託をされています。そして、農家の自立した蒲萄の販売を促進されています。行政におんぶに抱っこの施策では無く、自立した農業振興目指された手法を学び、農業による町おこしを考える事を目的といたしました。

・視察内容

尾道市の観光振興の考え方は、長浜市同様「点から線へ、線から面へ」との考えで観光客の増加を試みておられます。尾道市には、「おのみち歴史博物館」「尾道市立博物館」「なかた美術館」等の文化的な施設も充実しています。又、「千光寺山ロープウェイ」や「古寺めぐり」の紹介もあります。これらは、長浜市においても参考とすべき所がありました。

瀬戸内しまなみ海道の高速道路を開放しサイクリングを楽しんでいただく企画は、素晴らしく感じました。滋賀県のビワイチも、これらを参考に観光客誘致を考えてもらいたいと思いました。

井原市の葡萄畑は、山肌一面が葡萄畑でした。南浜の葡萄畑とは比較にならないほどの広さでした。売り上げが８億円ほどとの事でしたが、なかなか厳しい経営状況だとの説明がありました。生産されたシャインマスカットをみやげとして購入し家族で味わいましたが、大変おいしかったです。南浜の葡萄で「ベリーＡ」という品種を毎年購入し食べていますが、井原市でも栽培しているとの事でした。「ベリーＡ」は、収穫が８月（盆前）の頃で、仏壇に供えています。
井原市の「ベリーＡ」の味を確かめたいと思いました。

現在の円安を背景に、もっと海外への輸出が出来れば、売り上げも上り経営も良くなるのではと思います。経済が非常に厳しく、食料品の値上げが続く中「シャインマスカット」にしても「南浜の葡萄」にしても庶民にとっては、高値の花となっています。資材高騰の中農業を発展・成長させる施策は、喫緊の課題となることは、間違いありません。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

観光振興について

まずは、小谷山戦国ミュージアムの着工を急ぎ行う事。天下分け目の関ヶ原合戦　→　姉川の合戦　→　小谷城攻め　→　賤ヶ岳の合戦　→　一乗谷朝倉氏遺跡　などの点を線で結ぶ様にする事が重要と考える。

又、長浜市には別の視点、白洲正子や北大路魯山人と湖北地方との関連や菅浦の湖岸集落・風景の観光財産を生かすようにしなければ成らない。

農業施策について

地球の温暖化や緊迫した世界情勢を見ると、どこかの時点で食糧難が起こると考えられます。私は、７俵用の米の冷蔵庫で玄米を備蓄しています。食糧難になれば、１反８畝の田圃で野菜が作れるようにと考えていますが、農業をやってないので作り方が分からない状況です。今後、勉強をしなくてはと考えています。

長浜市に点在する旧家の空き家や耕作放棄地をうまく取りまとめ、都会の若者に移住してもらい、農業生産者を増やさなければと考えます。近い将来、地球規模で食糧難になり、お金では食料が調達出来ない状況になるのではと心配致します。我々は、生き方や考え方を変えなければ成らない様な時代に、差し掛かっていると感じます。今後、人間の生き方・哲学を見つめ直して方向を見定めなくては成りません。